



重点施策 2

市民主導型公民連携のまちづくり

人口減少や高齢化が進む中、地域住民が自発的に立ち上がり、地域交通の確保や高齢者の支援など、わがまちの課題を把握し解決を図る市民主導のまちづくり活動は、地域での暮らしの維持に不可欠な取組です。

地域住民どうしの支え合いを促進するとともに、地域の課題の解決にスピード感を持って取り組むことができるよう、地域との対話を深め、現場で決定し、すぐに対応することができる体制づくりを進めます。

取組にあたっては、地域のまちづくり団体やNPO法人などの活動を積極的に支援するとともに、みずから課題を発見し対応することができる職員を育成し、あらゆる機会を捉えて市民との対話を深めながら、市民からの意見やアイデアなどを施策に十分に反映させ実行していくなど市民との協働を進めます。

また、地域との連携を深めることにより、地域包括ケアシステム^{※20}の強化を図り、高齢者の生活をさまざまな形で支え合う地域づくりの実現に努めるとともに、障害のある人の自立した生活の支援を推進します。



※ 20 地域包括ケアシステム：

高齢者等が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、介護と医療等との連携により地域で包括的な支援・サービスを提供するシステムのこと。



市民団体等の支援

- 協働を推進する市民活動の支援および、リーダーの育成
- 地域課題を住民自身で考え解決を持続的に図ることができる体制づくり

市民との対話の充実

- 市民参画や市民との意見交換の機会の拡充と市民意見の積極的な市政運営への反映
- 市職員のまちづくり活動への積極的な参画の促進

地域との連携による生活の支援

- 適切な支援につなぐための、各福祉分野の相談支援施設の利用促進と連携強化
- 地域包括ケアシステムによる高齢者の在宅生活の支援と地域全体で見守る体制の充実
- 障害のある人の地域での自立した生活につながる、地域における支援体制の整備

地域を支える人づくり

- 地域における助け合い、地域住民どうしの支え合いの促進
- 看護師、介護士、保育士など、市民を支える人への支援

まちづくりの指標

指標	単位	実績値	目標値 (R4)
市民と行政との協働が進んでいる（「満足」・「どちらかといえば満足」と思う人の割合	%	31.5 (H29)	35.0
市の施策では対応できない地域の課題について、地域住民がみずから対応するという取組が必要と思う人の割合	%	81.3 (H29)	86.0
高齢者に対する支援が充実していると「思う」、「どちらかといえば思う」人の割合	%	53.2 (H27)	58.0
住民主体の通いの場（いきいき百歳体操）の実施団体	団体	23 (H29)	55